

# 第一礼拝次第



説教：アドリアン・アルト師

|      |                                |            |  |
|------|--------------------------------|------------|--|
| 前奏   |                                |            |  |
| 頌栄   | 5 4 0                          | 会衆         |  |
| 主の祈り |                                | 〃          |  |
| プレイズ | 「主は道を造られる」<br>「シャイン・ジーザス・シャイン」 | 〃          |  |
| 聖書朗読 | サムエル記上 16 章 1-13               | 司会         |  |
| 祈禱   | (旧約聖書 p 453)                   |            |  |
| 賛美   | 新生 2 1                         | 会衆         |  |
| 説教   | 「私が見ているものを<br>見えていますか」         |            |  |
| 祈禱   |                                |            |  |
| 賛美   | 4 5 3                          | 会衆         |  |
| 献金   |                                |            |  |
| 報告   |                                | 司会         |  |
| 頌栄   | 新生 6 7 2 b                     | 会衆         |  |
| 祝禱   |                                | アドリアン・アルト師 |  |



## 第二礼拝次第

説教：仲本貴子師

司会：渡真利彦文牧師

聖書：ヨブ記 24 章 14 節 (旧約聖書 807)

メッセージ：「朝禱会のめぐみ」

プレイズ：「御前につどい」 「主は陶器師」

賛美：新生 3 6 3 新生 5 0 6



### ファミリー礼拝

司会・奏楽：学生会

聖書：ヨハネ 6：16～21

メッセージ：『わたしが「目指す地」』

<巻頭言>

「礼拝は価値あるもの」

牧師 渡真利彦文

まず申し上げたいことは、礼拝は「価値あるもの」であるということです。礼拝は英語では“worship” (ワーシップ) といいます。“worth” (ワース) とは価値あるもの、シップは関係を表します。ギリシャ語で礼拝のことをプロスクネオーといいます。ギリシャ語では礼拝を表す言葉が 7 つあります。しかし、聖書ではプロスクネオー以外の言葉はほとんど用いられません。プロスクネオーの意味は口づけをするという意味です。礼拝とは、まさしく足元にひれ伏して口づけをするように、形においても心においてもへりくだり、神に私たちの大事なものをささげていく姿といえるのです。

私の神学生時代、礼拝の時間において何人かの印象深い先生がいました。その中の一人は安藤伸市、日本の福音的な教会の中心的な先生でした。安藤先生はメッセージの前に、講壇の席から降りてひざまずいて祈っておられました。その姿を見ると、安藤先生が神を愛し、聖霊なる神の導きを求めておられることが伝わってきたものです。私はその姿に心洗われる思いがし、み言葉を取り次ぐ礼拝の重要性を教えられました。安藤先生のメッセージは覚えていませんが、その姿だけは私の心と脳裏に焼き付いて、礼拝とは神の前にひざまずくものであると教えられました。

「まことの礼拝をする者たちが、霊と真理をもって父を礼拝する時が来る。今がその時である。」(ヨハネ 4:23)